

日本放射線影響学会第 60 回大会優秀演題発表賞の選考について

審査要領

3 名の審査委員が、応募者の口頭発表を聴講し、下記の評価基準に基づいて採点する。選考委員長は、選考委員との協議により、3 名の審査委員の合計点をもとに、各会場で第 1 位の演題を入賞とする（同順位がある場合はすべてを入賞とする）。人数に余裕のある場合、残りの演題から上位数名を入賞とし、合計約 10 演題となるようにする。

（評価基準）

- ・ 研究の質（20 点満点）：研究対象、仮説、研究方法、結果の解釈は、他の研究者が真似しにくい独創的なものであるか（独創性）。これまでになかった知見を得たか、もしくは達成されていなかった事柄を達成したか（新規性）。
- ・ 発表の質（20 点満点）：背景説明は適切か。目的は論理的で明確に述べられているか。適切な方法がとられているか。方法の説明は（時間の制約の中で）十分になされているか。結果は分かりやすく論理的に提示されているか。設定した目的に対して整合性のある結論を提示したか。
- ・ 質疑応答（20 点満点）：質問を適切に解釈し、回答したか。
- ・ 発表技術（20 点満点）：わかりやすいスライドを作成したか。時間に対して分量は適切か。声の大きさや速さ、服装、身振り手振りは、十分な伝達力を持っているか。
- ・ キャリアとのバランス（20 点満点）：大学院生から 30 代後半以上の若手研究者までのバランスをとるため、発表者のキャリアから期待される平均的な口頭発表以上であるかどうかを加点する。+0 点（平均程度かそれ以下）～+20 点（平均を大幅に上回る）

選考委員会

委員長 明石真言（第 60 回大会 大会長）

委員 中島徹夫（第 60 回大会 プログラム副委員長）

委員 今岡達彦（日本放射線影響学会 賞等選考委員）

審査委員

大会事務局が、各会場 3 名の会員に依頼を行う。

以上